



ViECO
Technologies

**ヴィスコ・テクノロジーズ
株式会社**

**2020年 3月期 2nd QTR
決算補足説明資料**



2019年 11月 11日

証券コード: 6698

1. 2020年 3月期 2nd QTR 決算概要
2. 2020年 3月期 業績予想

- 1. 2020年 3月期 2nd QTR 決算概要**
2. 2020年 3月期 業績予想

営業状況・事業推進・市場開拓

- 貿易摩擦の影響による厳しい事業環境
- 国内主要顧客の設備投資慎重姿勢の影響を受け、業績予想を下方修正
- 海外事業は、スマホ関連中心に好調維持
- 潜在的新規市場の掘り起しのために展示会、プライベートショーの開催など、活用提案活動に注力

開発投資

- 開発体制再編（2019年4月）により効率化促進
- 次世代向け製品開発が順調に進捗
- 既存製品の新規検査アルゴリズム開発（差別化製品開発）を積極的に推進

人材開発

- 国内外営業、国内開発体制増強のため、積極採用継続
- 即戦力化のための社内研修プログラムの強化
- 新卒採用は、2019年4月期実績：5名、2020年4月期も当期並の採用継続

2020年 3月期 2nd QTR 連結決算ハイライト

- 米中貿易摩擦の激化に伴い、国内電子部品関連メーカー、半導体メーカー等の投資判断先送りの影響を受け、売上高減少
- 国内外問わず製造メーカーにおいて、製品の安全性、高機能化に向けた動きが依然活発であり、当社製品について高評価を受けるも、世界経済の不透明化により商談長期化傾向
- 積極的な研究開発、継続的な次世代人員の採用・人員増強による経費増加、営業利益減少

(単位：百万円)

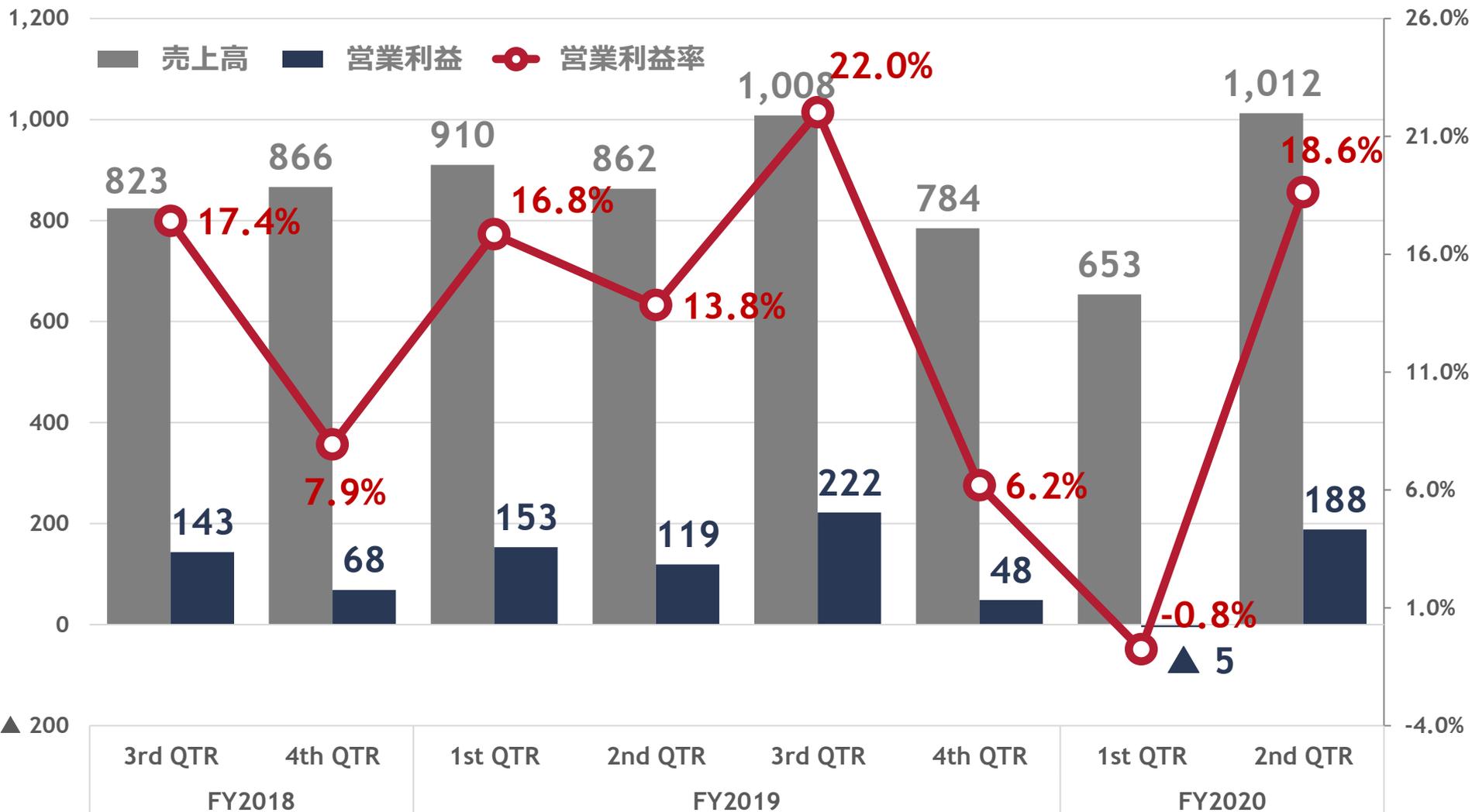
	前期実績	当期実績	業績予想	前期実績 比較	業績予想 比較
	FY2019 2Q	FY2020 2Q	FY2020 2Q		
売上高	1,773	1,666	1,600	▲106 94.0%	+66 104.1%
営業利益	272	183	170	▲89 67.3%	+13 108.0%
経常利益	251	164	150	▲86 65.6%	+14 110.0%
親会社株主に帰属する純利益	201	120	140	▲80 59.9%	▲19 86.4%
1株当たり純利益 (単位：円)	33.92	18.97	21.97	▲14.95 -	▲3.00 -

注) 連結業績予想数値は、2019年9月13日付で公表しております修正予想数値を用いております。

連結売上高・損益 四半期推移

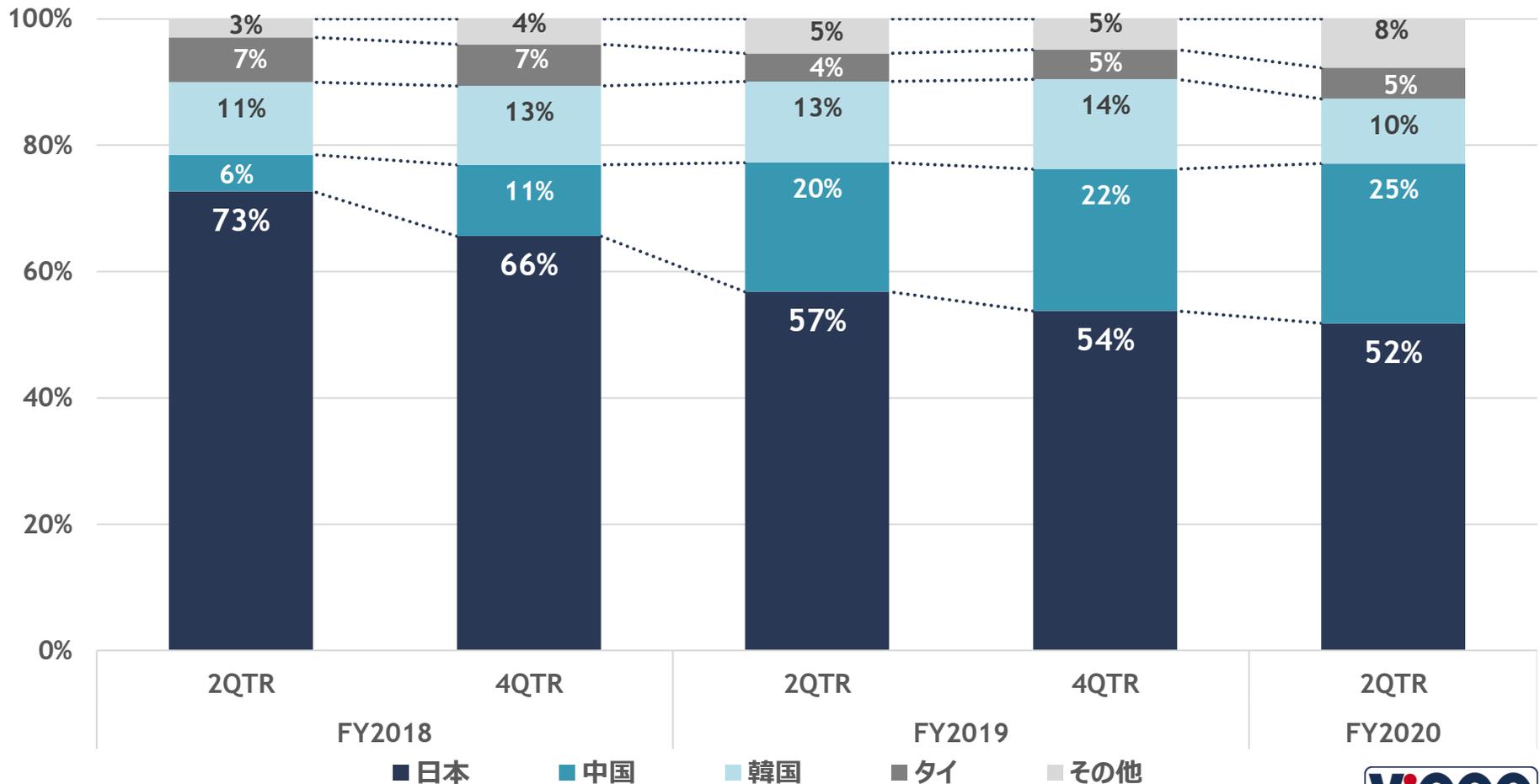
(単位：百万円)

(単位：%)



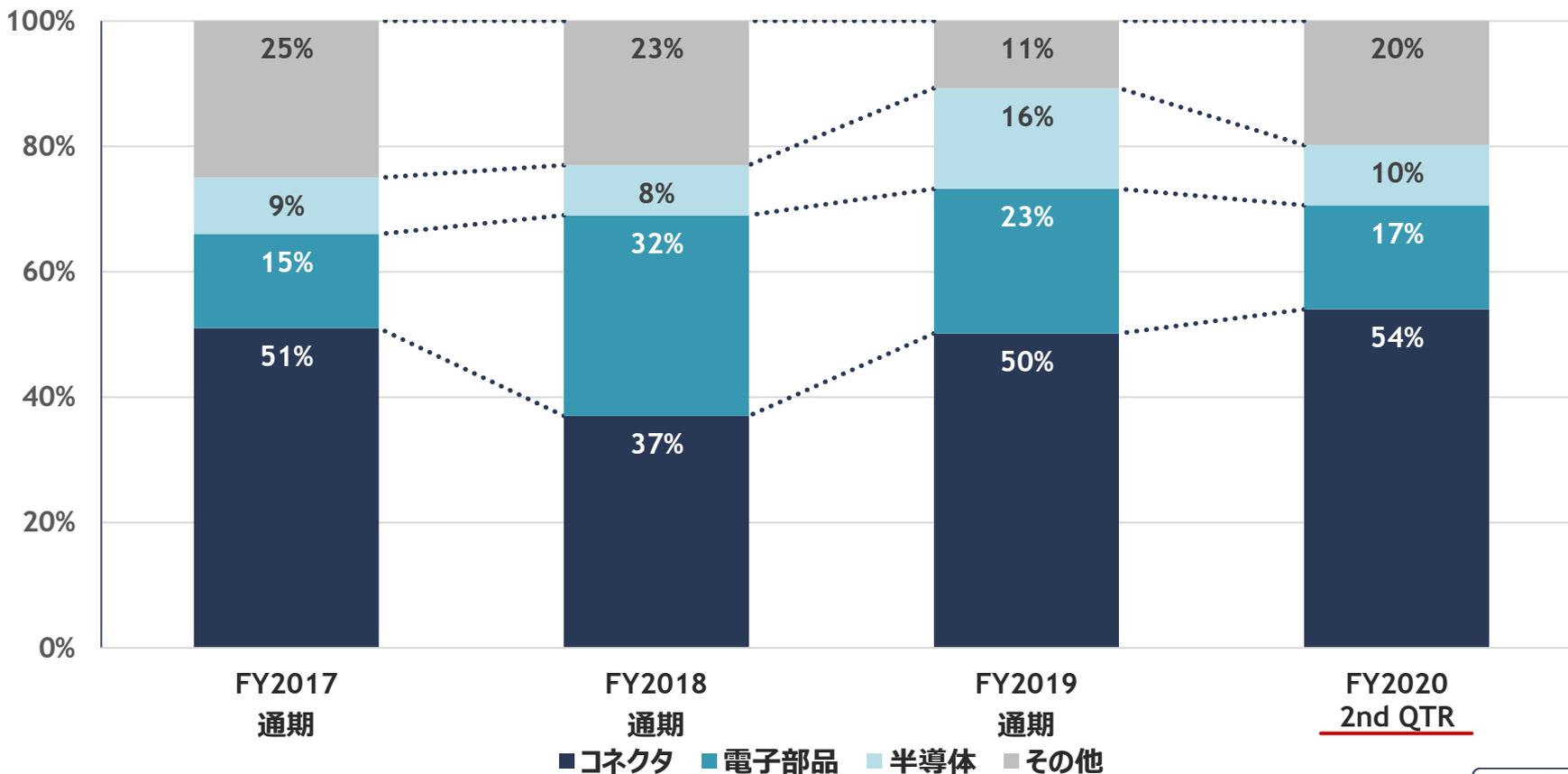
得意先地域別売上高推移(連結)

- 中国売上が順調に拡大
- 国内売上は微減傾向であるものの、海外売上の拡大に伴い構成比率は低下傾向
- 主なその他地域：マレーシア、ベトナム等 東南アジアが中心



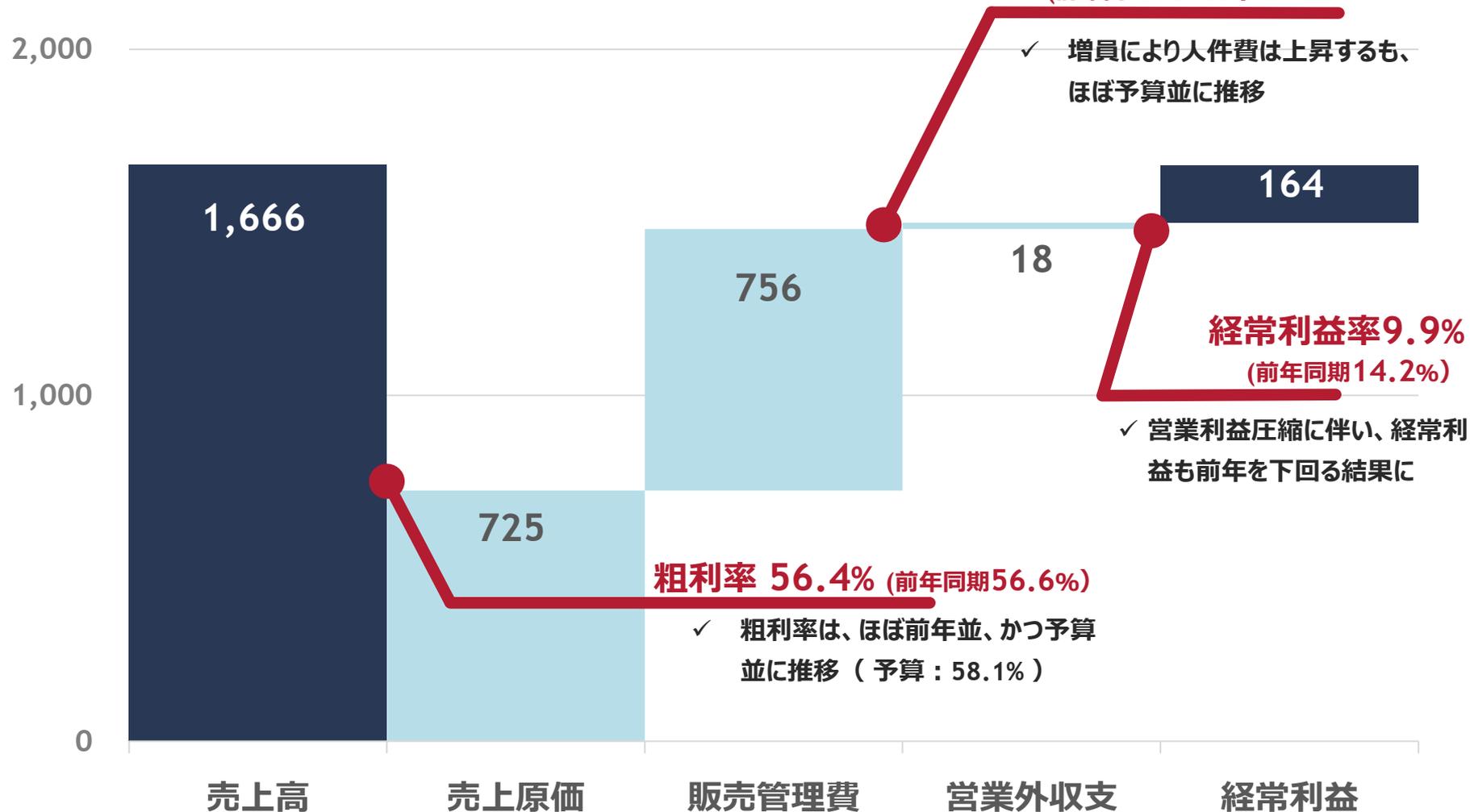
検査用途別売上高構成(連結)

- 主要顧客であるコネクタメーカーからの大型受注により、コネクタ比率上昇
- 設備投資抑制傾向の影響を受け、半導体比率低下
- 海外は、スマホ向けの受注が好調維持



2020年 3月期 2nd QTR 連結決算經常損益分析

(単位：百万円)

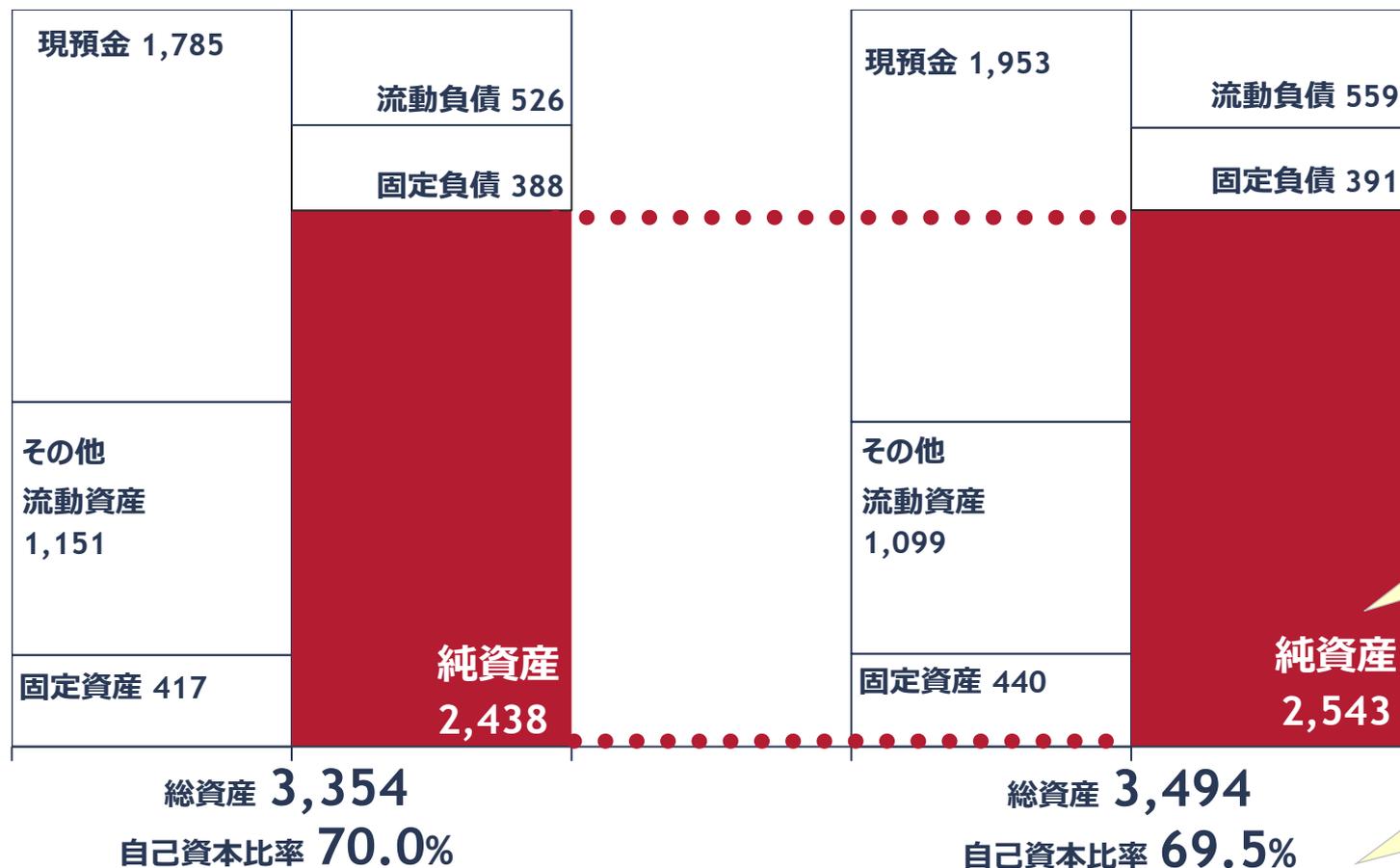


2020年 3月期 2nd QTR 連結貸借対照表

(単位：百万円)

前期
2019年 3月期末

当期
2020年 3月期 2nd QTR



純資産
前期末比較
+4%

自己資本比率
前期末比較
▲0.5pt

展示会出展実績/国内

産業とくらしのグランドフェア 2019



2019年
7月 5～ 6日

関東
幕張メッセ

2019年
7月19～20日

東北
夢メッセみやぎ

2019年
9月 6～ 7日

中部
ポートメッセなごや

2019年
9月13～14日

九州
マリンメッセ福岡

2019年
9月20～21日

関西
インテックス大阪

来場者数：5会場合計 60,000人超



製造現場の一連の流れをイメージできるラインを再現し、“自動化・省力化”をテーマに課題解決策を提案する『次世代のものづくりゾーン』に出展。ターゲットは全工業製品検査用途。

『機械加工』『検査・測定』『組立』の3つのステーション（工程）別に、スマート工場を実現するための機器、工場における労働力不足等の社会的課題を解決する最新鋭のロボットシステムを紹介することがコンセプトである本展示会において、当社製品を活用したギヤの外観検査装置を展示。

ご来場の皆様に当社製品の活用事例について実際にデモンストレーションをご覧いただくことにより、具体的なイメージを持っていただくことができ、商談に繋げている。

展示会出展実績/海外

Ceramics Expo 2019



2019年 4月30日～ 5月 1日

CLEVELAND, OHIO, USA

先進的なセラミックス、製造、コンポーネントに関するイベント
世界各国から300社以上が出展

当社主力製品VTV-9000シリーズの展示。

製品の特長や導入事例などを中心に紹介。

ターゲットは自動車関連。

MANUFACTURING EXPO 2019



2019年 6月19日～ 22日

BANGKOK, Thailand

ASEANの製造メーカー・先進技術等のイベント
46ヶ国、2400のブランドが出展



来場者数 90,000人超

Advanced Manufacturing Expo



2019年 8月22日

GRAND RAPIDS, MICHIGAN, USA

ロボット、マシンビジョン、センサーなどの自動化を牽引する世界中の設備メーカーが出展



ナノブロック外観検査装置を展示、紹介。
ターゲットは自動車関連。

展示会出展実績/海外

台北国際自動化 工業大展



2019年 8月21～24日

台湾、台北

オートメーション制御機器、工作機械、電子情報機器等、産業の自動化を中心とした台湾最大級のイベント



ギア、コネクタ外観検査装置の展示。
来場者数は約300,000名。

ICH Shenzhen 2019



2019年 9月10～12日

中国、深セン

コネクタ産業、ハーネス加工、関連処理装置メーカーなど、18ヶ国、約460社が出展



コネクタ外観検査装置を中心に展示。

プライベートショー開催の実績

全国16県 33ヶ所 にて プライベートショーを開催 合計来場者数 600名超

昨年に引き続き大変ご好評いただき、追加開催のご希望や、まだご参加なさっていないお客様からのリクエストが多数ございます。

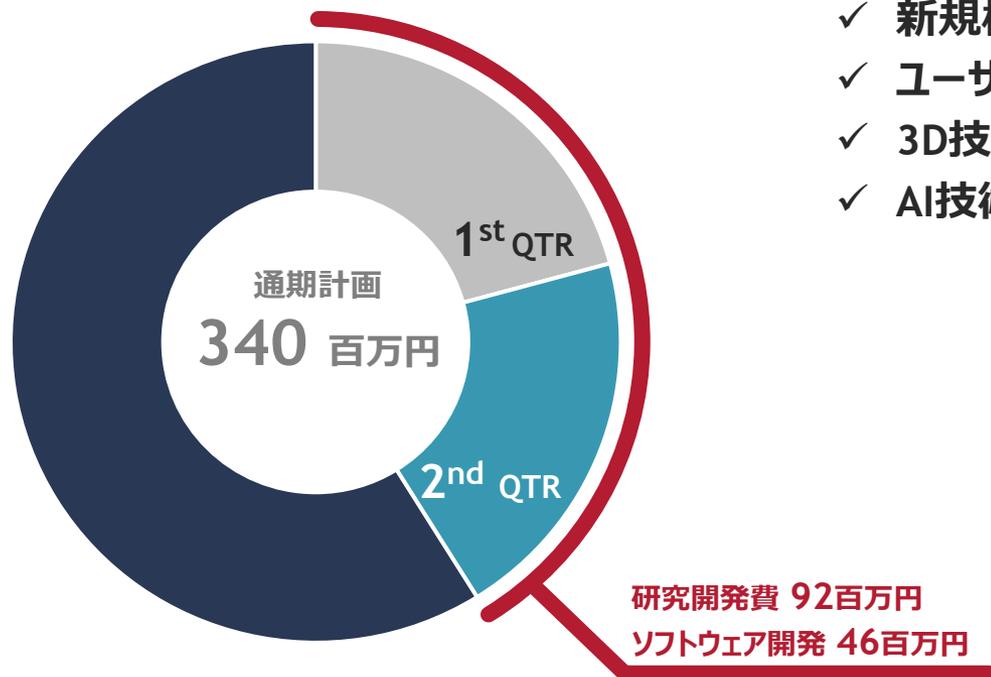
●ご参加いただいたお客様の主な業種

- ✓電子部品メーカー
- ✓半導体メーカー
- ✓精密機器メーカー
- ✓その他

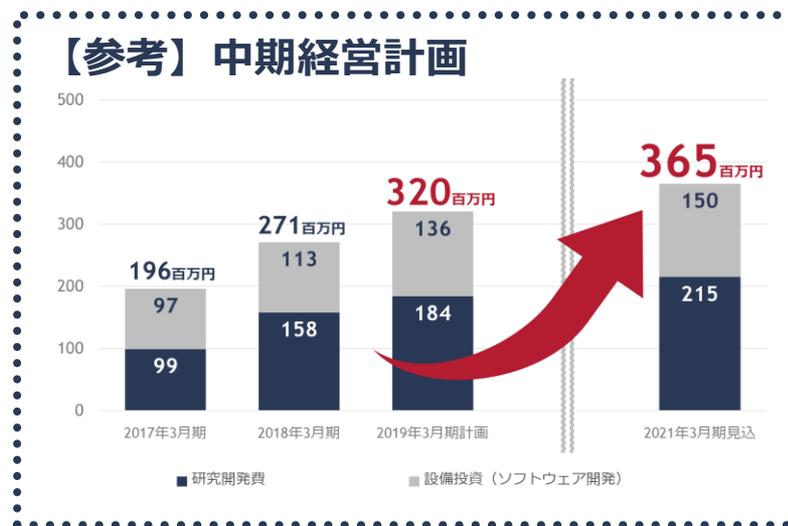
プライベートショー後は、ご参加いただいたお客様との商談が加速しています。

2020年3月期 2nd QTR

- 次世代製品の研究開発
- 既存製品(VTV-9000シリーズ) の機能強化
 - ✓ 新規検査アルゴリズムの開発
 - ✓ ユーザビリティの向上
 - ✓ 3D技術との融合
 - ✓ AI技術との融合

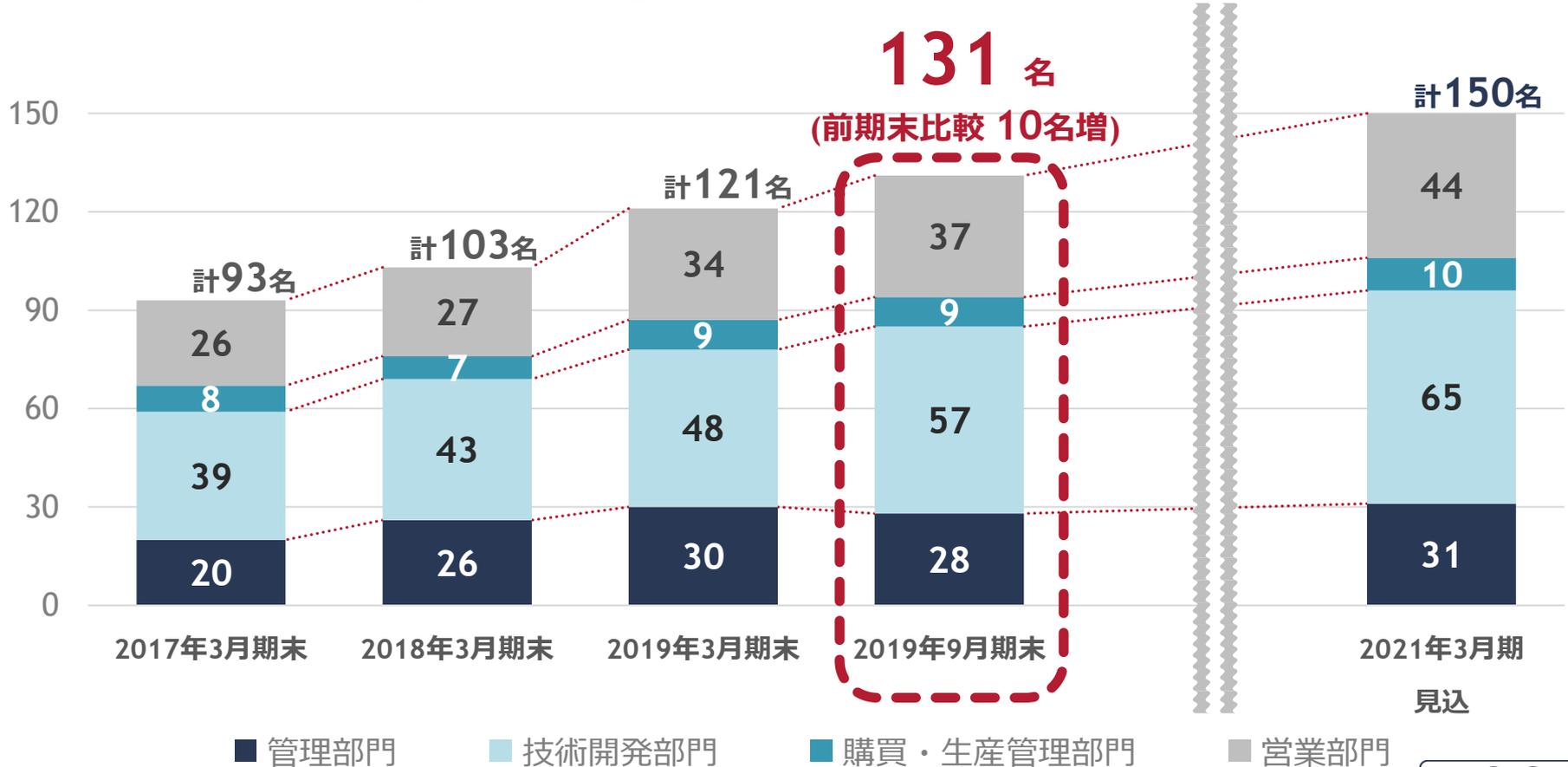


(単位：百万円)	投資金額	当期投資金額累計	計画進捗
1 st QTR	70	-	21%
2 nd QTR	69	139	41%



部門別人員推移(連結)

- 2019年4月期 新卒採用5名
- 日本国内を中心に人員増強。以降も日本国内人員を中心に人員強化継続の予定
- 技術力・開発力の発展のために技術開発部門を増強（前期末から9名増員）
- 2020年4月期 新卒採用人数は当期並を予定



1. 2020年 3月期 2nd QTR 決算概要
- 2. 2020年 3月期 業績予想**

外部環境

- 事業環境は不透明な動きが続くが、5Gを中心とする次世代テクノロジー関連投資は活発化
- 中国経済の減速による影響

事業展開

- 中期経営計画の方針・戦略は変わらずに継続
- 検査自動化の流れを着実に売上につなげていくためのマーケティング活動、プロモーション活動は一層強化
- 投資抑制により長期化している商談の確実な獲得

開発投資

- 継続して、研究開発に注力

人材開発

- 営業・開発人員を強化すべく積極採用継続
- 2020年4月期 新卒採用、教育研修に注力
- グローバル人材の育成、海外サポート要員の育成を強化

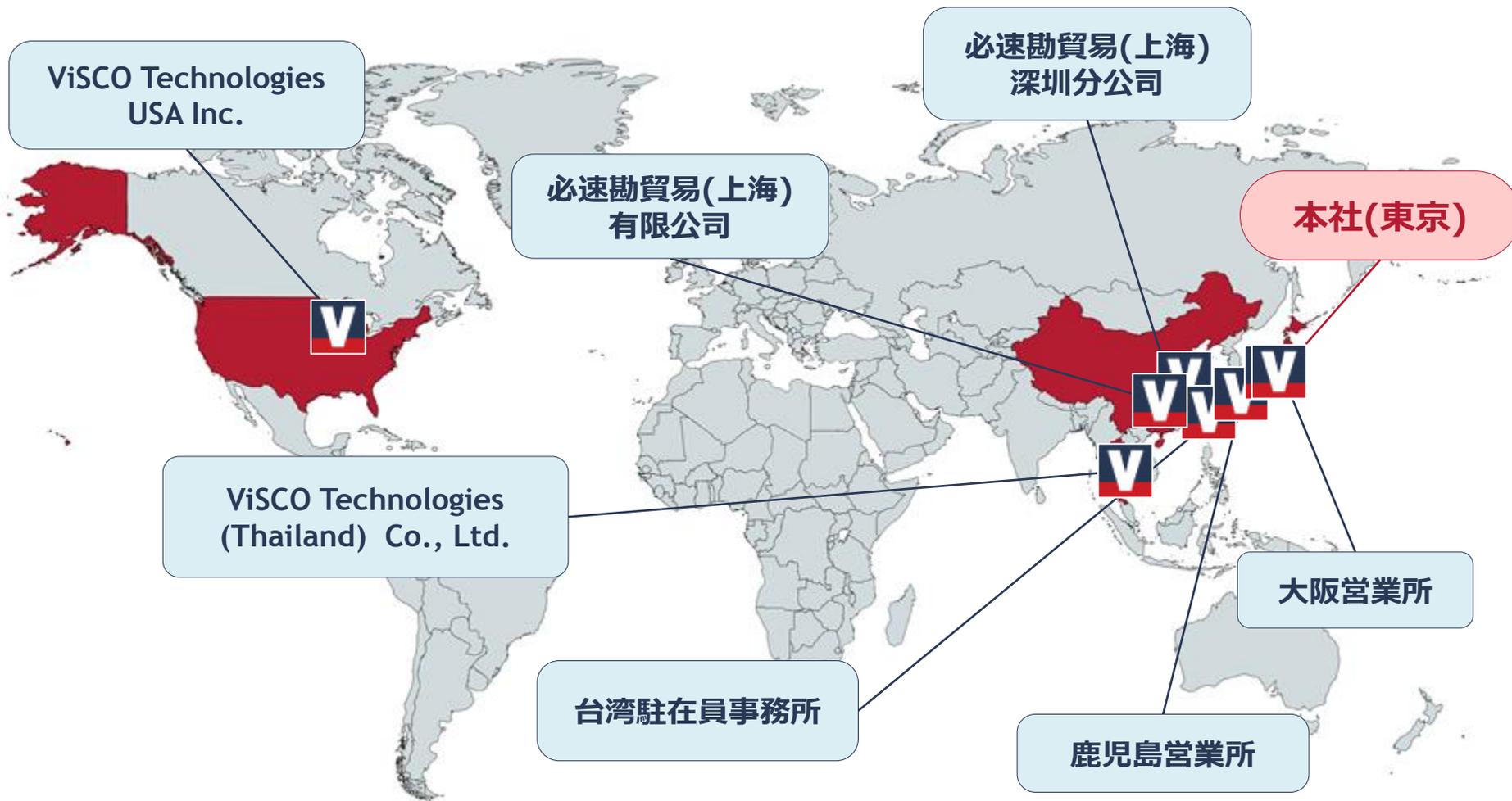
2020年 3月期 連結業績進捗

- 国内：貿易摩擦の影響により減速するものの、5G対応のための新規投資が年度末に向けて加速し
需要は回復する見通し
- 海外：景気後退の影響により、下期は減速傾向

(単位：百万円)

	当期実績 FY2020 2Q	業績予想 FY2020 通期	FY2020 通期進捗	
売上高	1,666	3,500	▲1,833	47.6%
営業利益	183	360	▲176	51.0%
経常利益	164	310	▲145	53.2%
親会社株主に帰属する純利益	120	230	▲109	52.6%
1株当たり純利益 (単位：円)	18.97	36.05	▲17.08	-

注) 連結業績予想数値は、2019年9月13日付で公表しております修正予想数値を用いております。



Created with mapchart.net ©

配当の基本方針

当社は、今後の事業展開の拡大及び経営基盤の確立のための内部留保の充実を勘案しながら、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、安定的に配当を実施していくことを基本方針としております。

また、「究極の画像処理検査装置」開発に向けた開発投資も重要施策の一つでもありますため、当社はこの二つのバランスを考えつつ、適宜、最適な配当還元を行ってまいります。

Appendix

会社概要

画像処理検査といえば “ ViSCO ”

画像処理技術を広めることにより
豊かな社会づくりに貢献する

画像-筋

“究極の画像処理システム”
を追及する

顧客満足度の高い画像ビジネスの
トータル・ソリューションを創造し、
画像処理システムクリエイターとなる

会社名	ヴィスコ・テクノロジーズ株式会社
代表取締役社長	足立 秀之
本社所在地	東京都港区海岸1丁目11番1号ニューピア竹芝ノースタワー
設立	2003年8月
資本金	488百万円（2019年9月現在）
国内事業拠点	大阪、鹿児島
海外事業拠点	中国（上海、深圳）、タイ（バンコク）、米国（イリノイ州）、台湾（台北）
従業員数	131名（2019年9月末現在）
事業内容	画像処理検査装置の開発、製造、販売
証券コード	東京証券取引所市場第二部（6698）

2003年 8月



ViSCO Technologies 株式会社 設立

私たちは、画像一筋です。

2010年 3月



必速勘貿易(上海)有限公司 設立

2012年 2月



ViSCO Technologies
(Thailand)Co., Ltd. 設立

2014年 3月



ViSCO Technologies
USA, Inc. 設立

2008年 3月

筐体型画像処理検査装置
VTV-9000 シリーズ発売



2017年 12月



東京証券取引所 JAQSDAQ (スタンダード) 市場 株式上場

2018年 12月



東京証券取引所 市場第二部 上場市場変更

IR に関するお問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、
管理本部 IR担当までお願い申し上げます。

Tel : 03-6402-4500

Mail : info-ir@visco-tech.com

本資料は証券投資に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。また、本資料には、計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を含んでいます。従って、様々な要因の変化により、実際にはこれらの記述と異なる結果となる可能性があります。

そのため、実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。また、投資に際して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

私たちは、画像一筋です。